

# 天駆ける天使の翼 2

ヤチ

友達たちの泣き声がまわりから聞こえる、立ち上がって目を開けるといくつもの机が倒れ下敷きになっている友達が泣いている、ぼくが隠れていた机も倒れていた。

黒板を押さえている先生が見えた、先生は次の瞬間机の下敷きになった友達の所へ走る、ぼくもすぐに机の下敷きになっている友達のところへ走る。

なにが起きたのだろう、あっ地震だ。

算数の勉強をしていると突然放送になった、「緊急地震速報　．．．．　予測される震度は M9　．．．」

放送が男の人の声で地震がくると言っていた、放送はなんどもなんども地震がくると繰り返していた。

「みんなっ！机の下に隠れろ！」先生が叫ぶ、ぼくも横の子も練習でやったように机の下へ隠れ、

両手で机の脚をしっかりと掴んだ．．．瞬間ジョトコースターよりも何倍も何倍もすごくゆごく体が揺れて、

飛行機のジェットのようなすごい音がやってきた。

怖くて怖くて、目をつぶった。

机を動かして友達を助けていると、「．．．津波警報が発令されました．．．予測される津波の  
高さは20メートル．．．」

放送がとぎれとぎれに津波がくるといいはじめた、「みんな集合！」先生がぼくらを呼ぶ。

大怪我をした友達はいなかった、泣いてる友達も数人いたけど先生の前にみんなが集まった。

先生が全員そろったかみんなの顔を確認する。

「全員いるかみんなを確認しよう！」先生の声にみんながそれぞれいない子がいらないか声を出しながら

確認しあう。「全員いるね、大丈夫避難訓練のように4年生が降りてくるまで教室の前で待つんだ！」

6年や5年の人たちが階段を走って降りていく、6年生は1年生のところへ、5年生は2年生のところへ。

練習でなんどもやっていたようにちっちゃい子達を助けるために走っていく。

大きい子達が下におりていった後、4年生が下りてきた。

「みんな！いくそ！」先生が号令を叫ぶ、ぼくは先生の所へ走った、「先生、先生ぼくは家に帰らないと．．．」、

「先生、ぼくはおばあちゃんとノンちゃんを迎えにいかないとおっ！」ぼくは先生に言う。

「わかった、ユウ行きなさい、先生もみんなを非難させたらすぐに行くから」、

「ユウ、お父さんとの約束、先生も応援するから、行きなさい、先生もすぐに行くからがんばれ」

先生に大きくなずいてはくは走りはじめる、家に帰らないと、おばあちゃんとノンちゃんが待っている。